



新しい注連縄が仁王門(国指定重要文化財)に

1/8

龍正院仁王門の注連縄

地域の人々が毎年奉納



稲わらで縄を補強していく

龍正院には、江戸時代の享保年間(1716~1736年)のころ、門前通りで火災が発生した際に、仁王門に安置された仁王様が大きなうちわで火をあおり返して本堂や民家を守ってくれたという言い伝えがあります。このことに感謝して、火災を免れた土地に住む人たちが毎年1月8日に注連縄を奉納しています。作業は、持ち寄った新しい稲わらで縄の弱っている部分を補強し、再び縄をより合わせていくというもの。今年も見事な注連縄が完成し、仁王門に掛けられました。

出来上がった作品



こども生け花体験教室

12/25

華やかな作品で新年を飾る

子どもたちに日本の伝統文化である生け花に親しんでもらおうと、「こども生け花体験教室」が八生公民館で行われました。生け花の歴史について教わった後、キクやセンリョウ、若松などの正月らしい植物を使って、いよいよ体験へ。講師から「草花が正面からきれいに見えるように」とのアドバイスをもらい、花材の高さや配置を何度も直しながら生けました。



1本1本丁寧に花を生ける



はつらつとした動きと表情を見せる出演者たち

市民ミュージカル

5カ月間の努力が結実

12/23

小学生から成人まで総勢36人が出演し、「市民ミュージカル」が国際文化会館大ホールで公演されました。演目「ソラリス」は、スペインとカリブ海の島が舞台。ラテンの音楽に乗って、明るくテンポよく、時にシリアスに展開されました。出演者は、7月から20回に及ぶ稽古で培った歌や踊り、演技を披露。2時間以上の公演は、観客を最後まで魅了し続けました。

新春航空安全祈願祭

空の無事故を願って

1/1

航空機と空港利用者の安全を祈願し、日本の正月の雰囲気味わってもらおうと、「新春航空安全祈願祭」が元旦、成田国際空港第1旅客ターミナルビル国際線出発ロビーで執り行われました。成田山新勝寺の僧侶が安全法楽をし、空港に乗り入れている航空会社に護摩札を授与。式典終了後には、おはやしはやしが披露され、おとそが振る舞われました。



空の安全と空港の発展を祈願



多くの仲卸業者が集まったマグロの初競り

成田市場初市式

威勢の良い掛け声響く

1/5

北総地域随一の取扱量を誇る成田市場で初市式が行われ、今年の取引がスタートしました。水産物部では午前5時30分、青果部では午前6時30分に式が始まり、一年の商売繁盛を祈念して手締めが行われました。また、式典後のマグロの初競りでは、競り人の威勢の良い掛け声が飛び交うなど、新年にふさわしい活気ある取引が行われました。

こども茶論

市長と笑顔で意見交換

1/13

小学生に市長と交流してもらおうと、「こども茶論きょうろん」が大須賀小学校で行われました。参加したのは5・6年生16人。将来の夢や市内のお薦めの場所などについて語り合いました。また、市長からの「成田市にカジノは必要だと思いますか」との質問には、ほとんどが「必要ない」と堂々と回答。また、「近くに商店やコンビニエンスストアがほしい」との地区ならではの意見も出ました。



市長からの質問に堂々と回答